

# モニタリング記録票 (H30秋・猿島)

調査日：平成30年11月5日（月） 8：45 ～ 12：30

天候：曇り時々雨

気温：17℃（9：00時点）

記録者：自然環境共生課

協力者：三浦半島自然保護の会、猿島公園専門ガイド協会

## ④ キジョラン

地図に (青) で図示  
食痕がある地点は色を変えて図示

コメント：  
実が多くなっている  
1年前の花 → 実 → 種 (フワフワ)  
1年 半年  
アサギマダラは幼虫で越冬する

## ② マダケ (広がり方の確認)

地図に (緑) で図示

前年と比較して変化が (ある・ない)  
変化の内容：  
北側へやや広がっている  
細い竹が増えた

## ③ 壁面のシダの様子

壁面上部の倒木・伐木 (有 ~~無~~)  
シダ類以外の植物 (増 ~~減~~・初見)

コメント (その他植物名、日照状態など)：  
壁面の植物が減った  
フウトウカズラが増えた (塩に強い、観音崎や城ヶ島でも増えている)  
イヌビワがなくなった

## ① ウミウ

生息確認数： 19 羽 (前回0羽)

コメント (その他の鳥の種名・数など)：  
10月～4月上旬頃にいる (多いときは約500羽)  
昼間は海にいる  
岩壁の白い付着物はウミウのふん  
目が青く、嘴がオレンジ

ウミウ…首が太い  
ヒメウ…小顔、顔は黒一色

帰りはウミウ22羽、ヒメウ5羽

## ⑤ イソギク

地図に (赤) で図示

その他海岸植物：  
イソギク  
ハマボッセ  
ツツブキ

## ⑥ 海岸打ち上げ物

人工物と自然物の割合 = 1 : 9  
海藻・海草：        種類  
生物の遺骸：        種類

打ち上げ物の種名と数：  
(+ : 若干、++ : 十数、+++ : 無数)  
マクサ  
ウチムラサキ貝殻

## ⑦ 四層構造の林の様子

種類を記述	樹種	生息する鳥類、昆虫類など
高木	タブノキ、スダジイ、イヌビワ、ヤブニッケイ、シロダモ、ヒメユズリハ、エノキ (塩害による葉枯れ)	生息する鳥類、昆虫類など
中低木	アオキ、イヌビワ	
低木	幼木、アズマネザサ、マサキ	
林床	フウトウカズラ、ヤブソテツ、ツツブキ、朽木	

自由記述欄  
ウグイスの地鳴き「ジャツジャツ」  
イソギク…葉の裏が白い  
ハゼ…紅葉する  
カラスザンショウ…木の幹に白い模様がある  
フウトウカズラヤドリクダアザミウマ…フウトウカズラにムシゴブをつくる

前回 (2018.6) からの変化  
③壁面の植物現象  
⑦ヤブニッケイ倒れる  
観察できた鳥が少ない

ハゼ これです  
葉1枚とみなす

